

橋本駅周辺地区における美術館の整備に向けた サウンディング型市場調査の結果概要を公表します。

橋本駅周辺地区における美術館の整備の検討にあたり、庁内検討では把握することが難しい市場性の有無や民間のアイデア等を聴取するため、民間事業者等の皆様との直接対話を行う「サウンディング型市場調査」を実施いたしましたので、その結果を公表します。

1 実施経過

平成29年8月14日(月)	実施要領の公表
平成29年8月22日(火)	事前説明会の開催 【参加団体：6団体】
平成29年9月 7日(木) ~ 12日(火)	対話の実施 【参加団体：6団体】
平成29年10月末まで	提案内容の分析と追加対話の実施

2 調査内容

(1) 調査対象

(仮称)美術館(橋本)整備事業(相模原市緑区大山町1番43号)

(2) 主な対話内容

- ・市場性の有無と適する整備手法について
 - ・運営方法について
- 具体性のある提案をいただくため、美術館部分の面積が1,200㎡程度、市負担額が5億円以内となるよう仮の条件を設定し整備手法の提案を募集した。

3 結果概要

- ・参加6団体のうち3団体から、施設規模や事業費など実施要領に準拠した具体的な提案があり、当該施設整備について、民間活力の導入が可能であること(市場性を有すること)が確認できました。
- ・民間活力の導入方式については、運営を除く建物の建設を中心とした協働方式について提案がありました。ただし建物の建設後の施設運営を含めたPFI方式での提案はありませんでした。
- ・併設する民間施設については、市が配慮事項とした文化芸術関連施設を含めた提案が1団体、子育て関連施設が1団体、併設施設はなく美術館単独建設の提案が1団体という結果でした。

- ・その他の3団体からは、具体的な整備主体・手法及び運営方法に関する提案ではなく、民間活力導入のコンセプト、市場性に関する考え方又は付帯施設についての提案をいただきました。

- ・各提案の概要について、具体的なもののみ別紙に掲載しています。

P F I (Private Finance Initiative)

P F I法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査での提案内容を参考とし、平成30年度以降、民間活力の導入による整備に向けて、施設の機能や規模などの検討を進めてまいります。

【担当課】

文化振興課（文化芸術班）

電話 042-769-8202

結果概要

【提案概要】

A		
建物全体	整備主体	提案者
	建物の規模等	低層建築物（民間施設併設）
	敷地の権原	定期借地権を設定し建設
美術館部分	床権利等	買取又はリース(契約期間満了後、市が所有権を取得)
	市負担額	5億円以内
	運営	市が直接運営
併設する民間施設		子育て関連施設

B		
建物全体	整備主体	提案者
	建物の規模等	低層建築物 併設施設なし（併設も可）
	敷地の権原	市有地のまま建設（併設の場合は定期借地権を設定）
美術館部分	床権利等	リース（契約期間満了後、市が所有権を取得）
	市負担額	5億円以内
	運営	市が直接運営
併設する民間施設		なし

C		
建物全体	整備主体	提案者
	建物の規模等	低層～中層建築物（民間施設併設）
	敷地の権原	定期借地権を設定し建設
美術館部分	床権利等	買取
	市負担額	5億円以内
	運営	市が直接運営
併設する民間施設		芸術・文化スポーツ施設及びオフィス